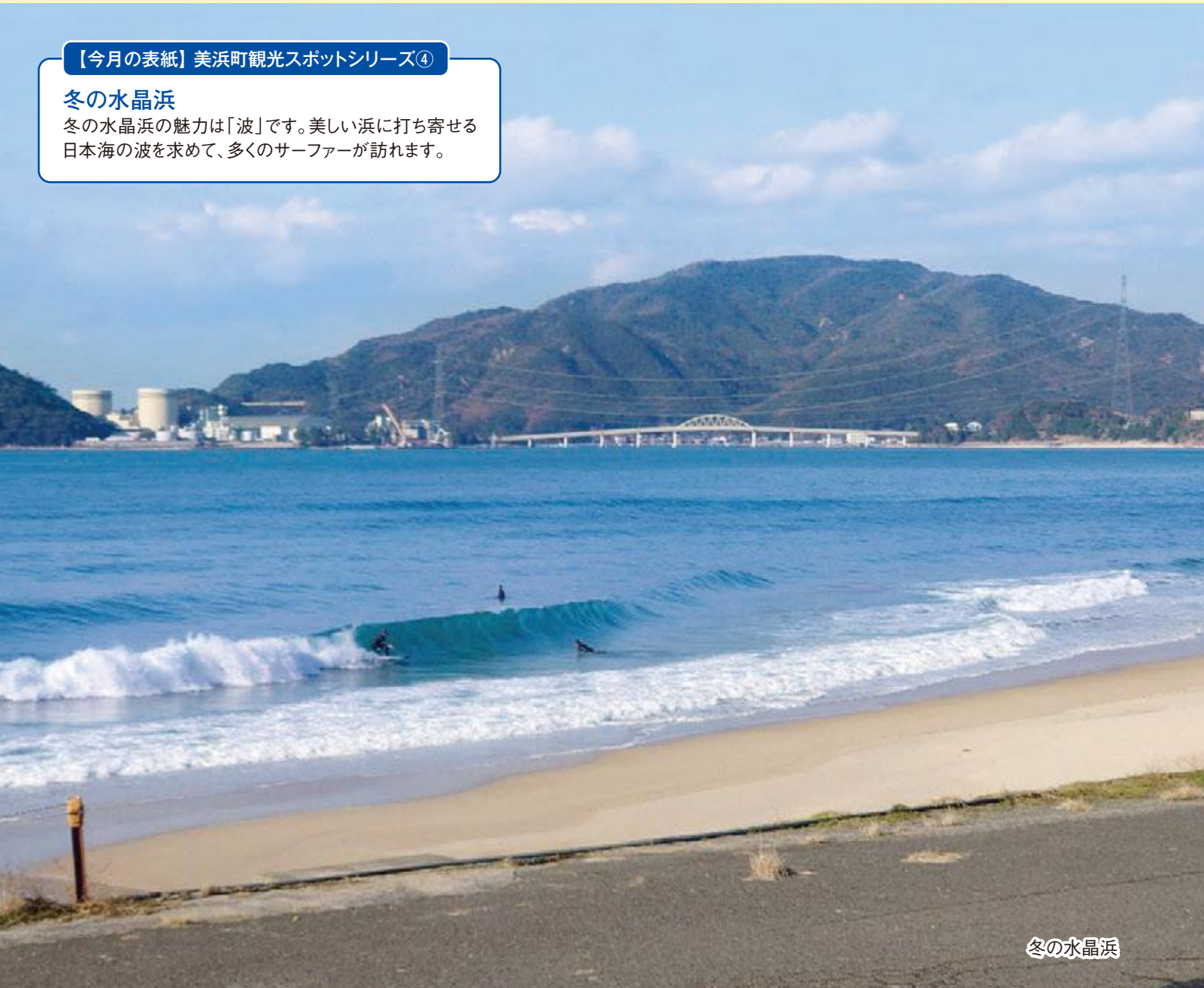


議会だより

【今月の表紙】美浜町観光スポットシリーズ④

冬の水晶浜

冬の水晶浜の魅力は「波」です。美しい浜に打ち寄せる日本海の波を求めて、多くのサーファーが訪れます。



冬の水晶浜

新年議長あいさつ	2
電池推進実証船を視察	3
12月定例会・一般会計補正予算概要	4~5
常任委員会の動き	6~7

議案・採決一覧	8~9
一般質問	10~15
町の話	16
編集後記	16

新年明けましておめでとうございます

美浜町議会議長 竹仲良廣



町民の皆さまにおかれましては、新しい年を健やかに
かにお迎えになられましたことを心からお喜び申し
上げます。旧年中は私どもの議会活動に対し深いご
理解と温かいご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。
昨年
は新型コロナウイルス感染症拡大で世界中がパンデミックになる
という我々世代ではこれまでに経験したことのない大変な一年でありま
した。また、12月に入り数年ぶりの雪に見まれ雪積る年末年始となり
ました。

さて、関西電力(株)美浜原子力発電所3号機の再稼働について、多くの
方々から賛成、反対の請願や要望を受けました。それらについてしっか
りと議論を重ね、去る12月15日に美浜町議会として再稼働に「同意」す
べきとの判断をしました。この後は美浜町長、福井県議会、福井県知事
の判断へと移行されますが、今後とも発電所にかかわる様々な動向に目を
向けながら、原子力の安全性の追求になお一層努めてまいります。

議会は町民の代弁者、最高決議機関として果たすべく役割と責任を自
覚し、町政や地域の課題解決に向け全力を尽くしてまいります。

本年も美浜町議会に対し変わらぬご支援、ご指導を賜りますようよろ
しくお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の終息を願い、皆さまにとりまして素晴ら
しい年となりますことを心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさ
せていただきます。

情報発信・見える化へ、 議会ICT化の年に！



兵庫 賢一



山口 和治



川畑 忠之



梅津 隆久



仲畷 正一



北村 晋



藤本 悟



松下 照幸



河本 猛



高橋 修



崎元 良栄



辻井 雅之



寺田 順一



電池推進実証船を視察



三方五湖 DMO 株式会社
取締役 COO 田辺 一彦 氏

母なるこの地をこよなく愛し、住民皆の心で、この地の持続可能な未来を創造する。今後の自然環境を考え、日本最先端の技術を駆使して製造された電池推進船が走るこの地「福井・若狭・三方五湖」で、自然と住民が共生し、幸せが循環する空間を作り上げたいと考えています。大いに夢を語り、皆の協力の下で夢を叶える姿を、子どもたちに見ていただきたいと強く願っています。

事業特集

ウイルス感染症対策 補給基金積立金

総務費 5,100万円

福井県経営安定資金(新型コロナウイルス対策分)を受けた町内中小企業者に利子補給するための基金を積み立てるものです。

福井県経営安定資金は10年間利息が発生するので、その部分を全額利子補給します。5,100万円の積立金は、令和3年度から令和7年度の5ヵ年分を見えています。



コンパクトシティ 事業



ふるさと納税 推進事業

総務費 3,512万円

ふるさと納税の寄附の増額見込みに伴う返礼品や委託料などの経費の増額です。

令和元年度の実績は1億2,600万円でした。これに対して今年度は2億2,500万円になる見込みです。新型コロナウイルス感染症による外出自粛による需要と、返礼品事業を停止していた鮮魚関係の業者が復活されたことが主な要因です。



12月定例会

令和2年度
一般会計 補正予算 (主要事業)

**12補正予算額
1億7,605万円**

審議 6・7ページ参照

新 規 **・** **拡 充**

美浜町新型コロナ 中小企業支援利子



美浜町スマート 魅力創造拠点化

土木費 600万円

JR 美浜駅前広場歩道シェルター設置に伴う設計委託料です。歩道シェルターとは「雨よけ」のことです。

美浜駅に降り立った人が、駅ロータリーの送迎車待機場所や道の駅まで、雨に濡れずに行けるようにする予定です。



▲ 歩道シェルター (イメージ図) ▶



常任委員会の動き

予算決算
常任委員会

付託案件5件

ふるさと納税海産物が人気！

問 美浜ふるさと納税推進事業（3512万円）の中に、ふるさと納税一括代行サービス委託料（809万円）があるが、その元となる納税見込み額ほどの程度か。

答 令和元年度の実績1億2600万円に対し、今年度の見込み額は2億2500万円と想定している。

問 ふるさと納税1件当たりの寄付額とこれまでの最高金額はどの程度か。

答 通常は5千円から1万円程度であるが最高額22万円が4件ある。また返礼品は海鮮関係が人気で、商品別ベスト10のうち8割程度を占めている。

問 美し美浜の観光を支えるがんばる美浜人応援事業（162万円）について、応援する観光事業者数はどの程度いるのか。

答 24事業者を決めているが今回の補正予算で5事業者の追加を予定している。

問 ケーブルテレビ施設更新事業（350万円）は、MMネットの契約を脱退し、個人でアンテナを設置する費用補助か。

答 その通りである。テレビとインターネットサービスの安定提供を目的に国の補助に合わせて町の財源も投入していることから、目的に照らしてこの補助制度を創設した。

問 農業人材育成拠点整備事業（348万円）は、各種備品購入費用であるが人材の確保は進んでいるのか。

答 2名の方を確保している。

問 町営住宅改修事業（506万円）の内容説明を求める。

答 換気能力改善工事として、久々子住宅B棟のダクトスペースの改修と受水槽地盤改良工事である。
(梅津記)

再稼働に賛成する請願2件を賛成多数で可決！

原子力発電所特別委員会

令和2年12月9日において、10月19日及び11月30日に本委員会に付託された請願12件についての審査を行いました。

請願第3号美浜発電所3号機の再稼働を求める請願については、紹介議員の北村議員から説明を受け質疑に入りました。

意見では、現在の脱炭素社会の方向性を見ると、自動車や電気自動車に切り替わっていき、さらなる電気の需要が高まり、電気のない社会は考えられない。今後電気をどのように確保していくかは、今の時点で原子力発電所を全く抜きには考えられない。安全安心な原子力発電所を稼働することが大事であるので、再稼働は認める。などの内容や、町の経済面を考えた場合、関西電力関係の会社は約350社あり作業員は2200名を超えると聞く。これらの人々による経済効果は非常に大きいので、今回の再稼働には賛成である。といった賛成意見があった。

また、美浜町は原子力発電所がない頃は、商店街も潤い漁業も農業も中堅的な位置にあった。今や一次産業は、後退の方向だと認識している。これからの美浜町を考えるのであれば、原子力発電所に依存するのではなく、よりよいまちづくりをするために原発のない社会を望んでいる。再稼働には反対である。という反対意見があった。採決の結果、賛成多数で再稼働に賛成の採択となった。

その他、請願第4号美浜発電所3号機の再稼働を求める請願についても、賛成多数で再稼働に賛成の採択となった。また、反対請願10件については、賛成少数で不採択となった。
(川畑記)

新サービスの利用に関する規定の見直し

◎美方地区農村情報化施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 MMネットでインターネットを利用する人はどの位いるのか。

答 現状スーパープランが953件、エコノミープランが157件、合計1110件である。更新すると速度が最高1ギガにアップするので、MMネットでサービスと利用者の拡充策を検討中である。

問 インターネットの初回利用料金は上限3万円とあるが、他の業者は実質無料であり、競合できるか。

答 条例に上限は規定するが、Mネットではキャンペーンとして今回は加入金を取らない計画である。

選挙運動費用公費負担の規定整備

◎美浜町議会議員及び美浜町長の選挙における選挙運動の公営化に関する条例の制定について

問 立候補者の費用負担が殆ど無くなるが、条例制定の背景は何か。

答 お金のかからない選挙と立候補者の公平性を高めるという観点から、全国議長会等の要請で公職選挙法が改正された。

延滞金割合の名称変更(延滞金特例基準割合)

◎地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

問 条例に「当分の間」とあるが、どういう期間か。

答 期限や期間が明確でない場合はそのように表記している。

減額対象となる所得の算定の見直し

◎美浜町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

問 施行日が1月1日になっているのは税金の申告期限の関係か。

答 住民税等の基準日が1月1日であり、国もそのようにしている。(高橋記)

町内中小業者に対する利子補給

◎美浜町新型コロナウイルス感染症対策中小企業支援利子補給基金条例の制定について

問 この基金条例は、福井県経営安定資金利子補給事業の5100万円で運用するのか。

答 福井県経営安定資金は、10年間、0.9%の利息が発生するので、その部分を全額利子補給する。積立金は、5年間の利子補給分を見ている。

助成対象者から「寡婦」を外す

◎美浜町母子家庭等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 寡婦という定義を外すことによって、どのように公平性に欠けた部分を補うことができるのか。

答 成人した子どもの同居者がいる寡婦、寡婦と同じ条件の男性、子どもが成人した後に寡婦となった方には医療費助成がないことで不公平が生じていた。今回の改正で不公平を解消する。

「18歳まで窓口無料」に拡大!

◎美浜町心身障害者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 年齢区分の改正が遅れた要因は何か。

答 支払いの助成の方法が変わり、15歳まで窓口無料だったものが、子ども医療費に合わせて18歳まで窓口無料とするものである。

主任の確保が困難な場合の要件規定

◎美浜町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

問 やむを得ない理由で主任介護支援専門員がいなくなった場合に、主任ではない人がどれだけの期間、管理者として適用されるのか。

答 令和3年3月31日までに、管理者の死亡など、やむを得ない理由がある場合は、令和9年3月31日までに主任介護支援専門員を確保しなさいという猶予規定が設けられている。(仲寫記)

第6回臨時会・第7回美浜町議会定例会 議案

議会最終日には、原子力発電所特別委員会から発委された「美浜発電所3号機の40年超運転にかかる意見書の提出について」が追加提出されました。

第6回	件名	委員会付託	議決結果	対応ページ
議案第91号	令和2年度美浜町小中学校学習用端末導入事業物品購入契約について	—	可決	
請願第3号	美浜発電所3号機の再稼働を求める請願について	原子力発電所特別委員会	継続審議	P6・P9
請願第4号	美浜発電所3号機の再稼働を求める請願について		継続審議	P6・P9

第7回	件名	委員会付託	議決結果	対応ページ		
議案第92号	美浜町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	—	可決	P9		
議案第93号	美浜町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	—	可決			
議案第94号	美浜中央小学校放射線防護対策工事請負契約について	—	可決			
議案第95号	令和2年度美浜町一般会計補正予算(第8号)	予算決算	可決	P4・5・6・9		
議案第96号	令和2年度美浜町診療所事業特別会計補正予算(第3号)		可決			
議案第97号	令和2年度美浜町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)		可決			
議案第98号	令和2年度美浜町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)		可決			
議案第99号	令和2年度美浜町産業団地事業特別会計補正予算(第2号)		可決			
議案第100号	美浜町農産物情報化施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	—	可決	P7		
議案第101号	美浜町議会議員及び美浜町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の制定について	総務文教	可決	P7・9		
議案第102号	地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について		可決	P7		
議案第103号	美浜町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について		可決	P7		
議案第104号	美浜町新型コロナウイルス感染症対策中小企業支援利子補給基金条例の制定について	—	可決	P4・5・7		
議案第105号	美浜町母子家庭等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	産業厚生	可決	P7		
議案第106号	美浜町心身障害者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について		可決	P7		
議案第107号	美浜町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について		可決	P7		
請願第3号	美浜発電所3号機の再稼働を求める請願について	原子力発電所特別委員会	採択	P6・P9		
請願第4号	美浜発電所3号機の再稼働を求める請願について		採択			
請願第5号	老朽原発の再稼働に関する請願書		不採択			
請願第6号	老朽原発美浜3号機の稼働再開について拙速判断を避け、熟議を求める請願書		不採択			
請願第7号	美浜3号機の再稼働を止めるよう求める請願書		不採択			
請願第8号	関電の原発マネー還流の全容解明と美浜3号機再稼働の中止を求める請願書		不採択			
請願第9号	美浜原発3号機の再稼働に反対する請願書		不採択			
請願第10号	再稼働前に美浜3号機の配管の総点検と関西電力の原発マネー還流の全容解明を求める請願書		不採択			
請願第11号	関西電力美浜原子力発電所3号機の再稼働に関する請願書		不採択			
請願第12号	美浜原子力発電所3号機の再稼働を認めないことを求める請願書		不採択			
請願第13号	美浜原子力発電所3号機再稼働に反対する請願		不採択			
請願第14号	老朽原発を動かさないように求める請願		不採択			
発委第4号	美浜発電所3号機の40年超運転にかかる意見書の提出について		—		可決	P6・P9

※略称 <予算決算>・・・予算決算常任委員会 <総務文教>・・・総務文教常任委員会 <産業厚生>・・・産業厚生常任委員会

賛否が分かれた議案

議席順に掲載(○賛成 ×反対 -欠席 □退席)※議長(竹仲良廣)は採決に加わりません。反対または退席があった議案だけ載せています。

	仲 薦	高 橋	寺 田	梅 津	河 本	辻 井	川 畑	松 下	崎 元	山 口	藤 本	兵 庫	北 村
議案第 92 号	×	○	×	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○
議案第 93 号	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 101 号	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第 3 号	○	○	×	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○
請願第 4 号	○	○	×	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○
請願第 5 号	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×
請願第 6 号	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×
請願第 7 号	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×
請願第 8 号	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×
請願第 9 号	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×
請願第 10 号	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×
請願第 11 号	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×
請願第 12 号	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×
請願第 13 号	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×
請願第 14 号	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×
発委第 4 号	○	○	×	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○

討 論 概 要

◎議案第92号 美浜町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

【反対討論】

感染症対策を行いながら働く職員のことを考えれば、期末手当の支給割合を引き下げるべきではない。(河本議員)

◎議案第95号 令和2年度美浜町一般会計補正予算(第8号)

【賛成討論】

今回の補正予算については、特に反対する理由がない。(河本議員)

◎議案第101号 美浜町議会議員及び美浜町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の制定について

【反対討論】

お金がなければ立候補できないハードルとなる供託金制度の導入は必要ない。(河本議員)

◎請願第3号 美浜発電所3号機の再稼働をを求める請願について

【反対討論】

停滞している町の経済状況は、原発に固執した偏った産業構造にある。(河本議員)

◎請願第4号 美浜発電所3号機の再稼働を求める請願について

【反対討論】

人類の英知は自然と共存共栄を図っていく

道に進んでいる。再稼働は必要ない。(河本議員)

【賛成討論(請願3・4号)】

地域振興・経済の発展のためにも、町民と発電所が共存共栄を図り、基幹産業として早期の再稼働が必要である。(梅津議員)

◎請願第5号から14号までは、美浜3号機を運転しないように求めるものや熟議を求めらるものである。

【反対討論】

国のエネルギー政策に貢献し、地球環境にも寄与して来た。原子力発電との共生は、美浜町としてあるべき方向と確信している。(梅津議員)

【賛成討論】

原子力の受益者以外の広範な人々をどう保護するのかという観点を、政治家は持つべきである。(河本議員)

【賛成討論(請願6・10・11号)】

巨大設備であり、40年超の老朽設備の3号機再稼働は危険性が高く、再稼働は認められない。新検査制度は事故の危険性が高い制度である。(松下議員)

◎発委第4号 美浜発電所3号機の40年超運転にかかわる意見書の提出について

【反対討論】

「原子力発電の将来にわたる必要性を認め、再稼働に同意する」こととなるため、意見書の提出は認めない。(河本議員)



たかはし おさむ
高橋 修 議員

人口減少、少子高齢化についての現状認識と対策は！

答 後期の重点施策に据え機動的に展開する。

問 現在約93000人の人口は、2025年には85000人強、30年には79000人弱になる予測であり、25年時点で94000人という第5次総合振興計画の目標を既に下回る。

また現在約36%の高齢化率も、30年には40%弱に上がる予測であるが、現状認識と対策を伺う。

町長 25年時点の人口目標を現時点で既に下回るの

は事実である。企業誘致、宅地分譲、子育て支援などを鋭意進めているが、出生数減と死亡者数増による自然減、特に若い世代の転入を上回る転出等の社会減が続いており、後期総合振興計画及び第2期創生総合戦

略の重点施策に据えて、機動的・横断的に展開する。

危機を乗切するため、住民目線の守りの議論が必要。

答 人口減でも幸せが実感できる基盤を造る。

問 「年寄りばかりで後継者がいない。この先どうなる。」等の悲壮な声を聞く。多くの住民が「今や人口減少・少子高齢化・地域消滅の危機は避けられない」と感じている。

産業振興、観光誘客、移住・定住促進等の攻めの施策に加え、生活現場に密着した、いわば守りの議論が必要ではないか。

町長 人口減少の抑制対策と並行して、健康・福祉・生活環境・にぎわい・防災等を充実・強化し、人口減少下にあっても住民が幸せを実感できる基盤づくりを進めている。

その一例であるが、まちづくりの新たな担い手として、町外から美浜を応援いただく人を登録する「応援人口登録制度」を12月に創設した。

意見 人口減少が極端に進めば、攻めの施策は負の遺産になりかねない。加えて、気候災害、エネルギー転換、パンデミック等で時代は大きく変化する。「持続可能な開発目標SDGs」に取り組み自治体や企業が増えているが、SDGsを参考に、常に「この先、将来的に持続可能か」という自問自答を反芻しながら、攻めの施策を進めて頂きたい。

集落間の、実態向き合った意見交換と学習の場が必要。

答 公民館での集落の連携活動にも努力する。

問 区長や区役員の経験から、集落間の意見交換の場が少なく、区運営の実態や課題・悩み等の共有・学習・連携が進まない。公民館活動として取り組めないか。

町長 まちづくりの原点の一つは集落と考えて、集落対話や元氣プランの作成をお願いしている。役員対象の研修会や集落自慢コンテスト等も行い、将来に向けた集落活動が芽生えて

いる。公民館での集落間の情報共有や連携についても努力していく。

意見 集落活動の芽生えは感じるが、もう一歩、集落の実態に密着した議論と意見交換の場が必要である。集落をベースに、それ以外のコミュニティの参画も促しながら、「地域としての持続可能性」をキーワードに、人口減少と少子高齢化に正面から向き合って、意見交換・学び・連携する土壌作りが必要と思う。

移住・定住施策の充実が急務。

答 空家活用や情報基盤構築を強力に進める。

問 空家対策の先進地視察で富山の朝日町を訪れ、役場職員主体の100人体制で全戸訪問調査を行う等の熱心な取り組みを聞いた。その中でも「重要なのは空家の予防」「移住・定住はハートのつながり」という説明に重みを感じた。

一方美浜町では、4月に美浜創生戦略課が廃止され、移住・定住・空家対策が土木建築課に移管さ

れた。

そして現在は、新型コロナウイルス禍に陥り、地方への移住相談が増えており、その流れをつかむ必要がある。そうした事情を踏まえ、美浜町の移住・定住対策の今後の方針を伺う。

町長 人口減少対策は、美浜創生総合戦略に基づき関係各課が取り組んでおり、課をまたぐ施策や新たな施策は課題も残るが、副町長が調整して主管部署を決めている。

移住・定住施策としては、住宅地の整備・宅地や住宅建築費用の支援・2世代同居・近居の支援等を行っており、特に美し野団地は想定以上の需要で、8割に当たる49区画が分譲済みで大きく寄与している。

今後とも、NPO法人ふるさぽとも連携を強化し、空家の活用や情報基盤の構築等を強力に推進する。

意見 時代の大きな変化は、工夫とチャレンジでチャンスになる。人口減少、移住・定住等の根幹的な課題を一層重要施策と位置づけ、ふるさぽとの連携、集落を横断した意見交換の場等、組織や要員を工夫して効果的に展開して頂きたい。



こும்と たくし 議員
河本 猛

町長、怒っているか！
答 遺憾の意を伝え、対応を求めた。



問 町長は、関電の信頼回復をどのような判断基準で見極めるつもりなのか。

町長 信頼回復については、

反省、要因の分析、それに基づき再発防止に向けた透明性のある誠意のある改善行動がとられているか。また町民の皆さんが、それを

どう受け止めているのかを考えている。

問 新型コロナウイルス感染症対策に失敗し、

町民の期待を裏切った関電に対して怒りを持って対応しなければならぬ。町長、怒っているのか！

町長 感染症対策については、これまで何度も

徹底をお願いしてきた。しっかり遺憾の意を伝え、対応するように申入れた。

問 一旦事業を止めて、

コロナを終息しろ！ぐらいの厳しいことを言わないと、関電は本気にならずに地域振興や地域共生なんて考えない。町長、どう思うか。

町長 遺憾の意を伝えた。誠意をもって終息に

向けた対応をしていると思っている。



マスクをしよう

「地元同意」ではなく、意見集約を求めたということか！
答 議会としての意見集約をお願いしたものである。

問 町長は議会に対して、再稼働について議論

し、「地元同意」の判断を求める時期についてどのように考えているのか。既に町議会に対して判断を求めたとの認識であれば、その時期を明確にしてもいい。

町長 10月19日の臨時議会で、美浜発電所3号

機の再稼働について議会の判断を賜りたく、慎重な御審議をお願いした。その時期については議会が独自に判断されるものと考えている。

問 提案理由のついでの

ような形の要請である。「地元同意」について、議長に申入れた事実はあるのか確認したい。

町長 提案理由の中で、議長をはじめ、各議員

をお願いをした。

問 「地元同意」については議会独自の判断

だというのが、町長は「地元同意」ではなく、意見集約を求めたということか。

町長 議会としての意見集約をお願いしたものである。

安全規制部門の審査結果を待て！
答 専門的機関の検査で再稼働の進捗が進む。

問 原子力の利用を推進

する立場の町行政は、規制委員会や福井県原子力安全専門委員会などの安全規制部門の審査結果を待たずに「地元同意」することはできないと思うが、町長、どう思うか。

町長 立地として同意につ

いて、その背景には、専門的な機関がしっかり検査をすることで再稼働の進められると考えている。

意見 安全規制部門の審査結果を待たない非科学的な「地元同意」では、

理解は得られない。関電の安全対策工事が終わっただけで、浮かれて「地元同意」なんて、常識的には考えられない。福井県知事ぐらい慎重な姿勢で、国や関電、安全規制部門の審査結果を見極める姿勢が必要である。



川畑 忠之 議員

道の駅での交流人口の拡大と地域住民の交流はできるのか？

答 ホームページやSNSを使い魅力の発信に努める。道路利用者、町内の生産者、町民の交流の場とする。

道の駅の愛称は「はまびより」に！

問 道の駅の愛称が決定されたが、いきさつは。

土木建築課長 町では、1か月間、町ホームページ、広報みはま等による募集を行った。全国から529点の応募数があり、外部の学識経験者による選考を行った。また、道の駅は多世代の方が集うにぎわいの拠点施設になるので、「はまびよ

り」には、美浜の「はま」と「び」という言葉が盛り込まれ、日だまりのような温かい場所として末永く愛され、穏やかで親しみのある場所がイメージされるとして選定した。

道は、住民の理解と共感が不可欠なので、わかりやすく思いがこもった計画書にすべきであるが、解決できるのか。

問 道の駅で「交流人口の拡大と地域住民の交流」という、2つの関連性が理解しにくい。

事業を成功裏に導くには、住民の理解と共感が不可欠なので、わかりやすく思いがこもった計画書にすべきであるが、解決できるのか。

道の駅施設は、地域住民の交流促進を図

町長



道の駅(イメージ図)

るため、多世代の町民が気軽にふれあうことができると、全天候型のイベント広場、町内の産品を買い求められる農林水産物直売所や、雨天でも小さなお子さんが遊べる子育て交流施設、屋外の公園的広場などを整備することになつていく。

交流人口の拡大については、観光客を対象に隣接する観光農園整備と連携した農業体験や、新鮮な農林水産物、美浜町の魅力あふれる特産物等の販売を行うほか、北陸新幹線敦賀開業を契機として、道の駅のホームページやSNS等を通じて、魅力の発信に努めていく。

JR美浜駅前広場の整備課題は！

答 駅前の拡張整備を行い、通行者の安全性を確保する。

問 美浜駅前広場の整備課題は何か。また、コミュニティバスの発着はどうなるのか。

現在のJR美浜駅前広場には、交通ルールがなく、歩行者等の動線が交錯しており、事故の危険性が高い状況であるため、JR美浜駅前広場等活用基本計画に基づき、駅前広場の拡張整備を行い、通行者の安

全性を確保する。そのため、バス、タクシー、一般車の乗降や待機場所を確保し、利便性の向上も図る。また、3路線あるコミュニティバスの発着は、利用者の利便性を第一に考え発着場と待機場を新たに設置する。

土木建築課長

美浜発電所3号機再稼働について、町民への意見集約はできたか！

答 町民の皆さんの意見は、最終判断に至る参考にした！

問 町長は、2か月間にわたり町民に対して、美浜発電所3号機の安全性向上対策工事の説明会を開催したが、町民の意見集約はできたかと考えるのか。

町長 町では、美浜3号機が原子炉等施設設置変更許可を受けてから、広報みはまや行政チャンネル、現地視察など、町民に広く情報提供を行ってきた。また、10月31日には町民説明会を開催し、国の機関や事業者から詳細に、丁寧な説明を受け、質疑応答も行った。この状況を、インターネットでのライブ配信や、行政

また、町の原子力環境安全監視委員会や、町内3地区で開催した、地域あいあいほつとミーティング等においても、参加者から意見を聞いた。こういった取組を重ねる中で、町民からは、再稼働に理解を示す声や発電所に係る安全・安心の確保、また、地域行政に関すること等、多岐にわたる意見を聞いた。様々な意見は町民の声として、最終判断に至る参考にしたと考えている。

また、町の原子力環境安全監視委員会や、町内3地区で開催した、地域あいあいほつとミーティング等においても、参加者から意見を聞いた。こういった取組を重ねる中で、町民からは、再稼働に理解を示す声や発電所に係る安全・安心の確保、また、地域行政に関すること等、多岐にわたる意見を聞いた。様々な意見は町民の声として、最終判断に至る参考にしたと考えている。



つじ まさゆき
辻井 雅之 議員

**北陸新幹線の
開業延期をど
う考えるか。**
答 到底納得できる
ものではない。国の
責任を示すべきだ。

問 新幹線敦賀開業につ
いて、1年半の延期
と2880億円の工事費
増額の報告と謝罪が、県に
あったが、町長はどう考え
ているか。

町長 敦賀開業を好機とら
え、町でも観光をはじめ



め経済効果に期待している。
県内外の関係自治体にとっ
ても延期は到底納得できる
ものではない。予定通りの
開業に向け、国の責任にお
いて取組んでいただきたい。

問 昨年度からレイ
ンボーラインの観光施
設の充実を図っているが、
コロナ禍の中、リニューア
ル効果と今後の展望を伺う。

**観光戦略
課長** コロナ禍の影響で4月
から7月までの入込は
不調だったが、5月以
降は嶺南エリアの方が多く
来場され、地元の素晴らし
さを再発見したという声を
たくさん聞いた。多くのメ
ディアにも紹介され、8月
以降は県外客も増加し、前
年を3割近く上回り、コロ
ナ禍でもその効果を確認で
きた。今後も(株)レインボー
ラインや若狭町と協力し、
おもてなし環境の充実と強
化を図り、三方五湖エリア
の活性化に繋げていきたい。

問 現在、有料道路を管
理運営している「福

井県道路公社」が後2年足
らずの令和4年の9月末で
廃止されることになってい
る。道路公社と美浜町、若
狭町、(株)レインボーライ
ンの話し合いが持たれてい
ると聞くが、その内容は、

**観光戦略
課長** 福井県道路公社の解
散に伴う三方五湖有
料道路レインボーラ
インについて、県からは、
県道として県が管理してい
く方針と聞いている。山頂
公園については、(株)レイ
ンボーラインが運営してい
くことになり、道路以外の駐
車場等の取扱いは、県も含
めて検討を進めている。

意見 この道路は、非常時
において、迂回路
として利用できる道路であ
る。この道路の重要性を鑑
み、現状の維持管理が必要
である。また、山頂公園
は、県を代表する景勝観光
地であり、外貨獲得等の観
光資源として、県との関わ
りは離してはいけない。

問 町には防火水槽は
105カ所あり、夜
になると見づらい水槽が見
受けられる。夜の火災に支
障をきたす恐れがあるので
はないか。
総務課長 消防署の説明では、
防火水槽には、周囲
の街路灯や照明設備を設置
する基準は無く、暗闇に対
処するために水利標識で把
握している。暗闇でも消防
車両等の照明があるので対
応できると考えている。

問 消防自動車の配備さ
れた消防団がある。
平成19年と29年に運転免許
制度の改定があり、中型・
準中型免許がなければ消防
車の運転が
できなく
なった。中
型免許取得
には、自動

**町内の防火水槽管理と中型免許
取得の助成を。**
答 夜間対応は把握しており、免許助成は検討の方向で。



車学校に通い、その費用も
15万円位かかり自己負担と
なる。この負担を消防組合
組織で持てないものか。

総務課長 美浜消防団には19台
の車両がありその内
8台は、準中型免許が無い
と運転できない車両であ
る。町には229名の消防
団員がいて、平成29年3月
以降に免許を取得された団
員はわずか2名で、直ちに
支障はない。将来必要とす
る団員が増えるので、消防
組織としても、助成等の制
度を具体化していきたい。



うめづ たかひさ
梅津 隆久 議員

近年の大雨、集中豪雨避難対策は。
答 ハザードマップの充実を図り更なる防災に努める。

問

千年に一度級の雨なら、今迄安全だった避難場所は水没すると判明した。河川氾濫と土砂災害の危険が無い地点を選定して来たが今後は、災害ごとに避難場所を変える事も考えると町はプレスしている。住民に混乱を招き逃げ遅れを生じさせることになると考えるが具体的な説明を求める。



町長

豪雨の規模によって変化するがハザードマップの中にしっかりと示されている。豪雨レベルによつては浸水する場所もあることは理解の上、公共施設への避難場所等を設定している。今後、位置・場所の決定等、しっかりと検討を進めて行きたい。

問

政府は中小河川の浸水の充実を図る水防法の改正を目指しているが、わが町においては中小河川のハザードマップの強化見直しはどの様な内容でいつまでに完成させる予定なのか。

土木建築課長

平成二十年に作成されたもので三十年に一度の降雨で耳川氾濫、浸水を想定したものであり、県と同様、千年に一度を想定し集落内町管理の中小河川等を反映したもの

小中学校のいじめ不登校の実態と対策は。
答 教職員の最優先課題として取り組んでいる。

問

新聞報道によれば全国で認知された、いじめ件数は5年連続過去最多を更新したと言われているが、わが町の実態はどうか。

教育長

いじめ問題は教育者として最優先課題であり、大事なことは、いじめめという行為を発生させない様、教職員は常に意識し、子供の変化を常に気づく感性が大切と考える。今年度は、冷やかしゃ悪口等、数件あったが解決している。長年にわたる人権教

教育委員会事務局

育の成果とも考える。不登校の児童生徒は、10名程度で原因は、勉強、進路、人間関係と聞いている。ケアとサポートとしてスクールカウンセラー2名、教育相談専門員1名配置し相談体制を整えている。





まつした てるゆき
松下 照幸 議員

10万年先の世代まで管理を強要。無責任！
答 国は責任を持って対応すると理解している。

問 使用済み燃料を10万年もの間、地下で完全に保管できる場所は日本にない。

町長 地層処分が国の方針。国は責任を持って対応すると理解している。処分場の確保等を国に要請している。



問 我々が今使う原発の電気の廃棄物を10万年先の世代にまで保管を強要。倫理的に問題がある。

町長 適切な場所に埋めれば直接の管理は必要ない。

トリチウム汚染水の海洋放出、将来起こりうる！
答 国が前面に立ち、国民に理解を進める。

問 福島原発事故のトリチウム汚染水が貯まり続け、政府は海洋放出を予定している。町内や県内の漁民にも将来起こりうること。

町長 原子力政策は国の施策。国が前面に立ち、国民全体に理解を進めて頂けると考えている。

問 3号機再稼働により大きな事故を起こせば、日本海は汚染され、日本海側沿岸漁業、近隣国の漁業に大きな被害を及ぼす。莫大な補償金を要求される。その責任は？

問 使用済み燃料県外保管先が決まるまで、再稼働を認めないと公言すべき。

町長 注視していきたい。

町長 福島原発のような事故が起きないように、対策は講じられていると認識している。外国からの補償金について、仮定の話はお答えを控える。



関電、「ひび割れ放置」運転を画策！
答 意図的に違法な評価をしたものではないと聞いている。

問 大飯3号機配管ひび割れにおいて、法令違反をし、規制庁から厳しい指摘を受けた。この経緯を知ってどう思うか。

町長 意図的に違法な評価をしたものではない。規制庁の説明を受け、関電は当該配管を取り替えたと聞いている。

問 新検査制度において、法令に違反すれば「厳しい罰則」を設けるように国に求めるべきである。

町長 傷を発見した場合の対応など、日常の点検で把握しながら、手続きを踏んで頂くことが重要。安全最優先で、関係機関、事業者に要請していきたい。

意見 新検査制度は、国ではなく、電力事業者が定期事業者検査を一義的責任で行う。国は報告を受

けるだけで、直接的責任を負わない。これは危険な制度と言える。規制庁の「フリーアクセス」では、事業者の不正をチェックできない。「傷を発見したら、止めて点検し、修理して、運転を再開する」。今までの制度に戻すことが、作業員、町民の安全に繋がる。傷の進行速度を評価する式の「信頼性は低い」のに、事業者が計算して安全と言えば、傷を放置したまま1年間運転できる。間違いない、事故の危険が増す。規制委員会は、電力事業者へ経営上の便宜を図っていると思える。





令和3年 成人式



ご成人おめでとうございます！！



第1分団に配備された消防ポンプ自動車



美浜消防署に配備された救急自動車

編集後記



12月定例会が終わると厳しい寒さがやってきました。何かと忙しい年末年始は、新型コロナウイルス感染症の急拡大で「お籠り正月」を過ごした方も多いのではないのでしょうか。

新聞やニュースを見ていますと、解雇されたり、収入が減少したり、厳しい社会情勢が目に見え込んできます。また、リモートワークなどで自宅での仕事が増えると、その分「光熱費」がかさんでいきます。「何とかしたい」と気にやむ日々を過ごしているのは、私だけではないと思います。

この間、唯一の喜びは、外出外食を控えることで、家族と過ごす時間が増えたことです。家族と過ごせる喜びを糧に、希望を見出したいと思います。

(河本記)

美浜町議会広報特別委員会

- 【委員長】 河本 猛
- 【副委員長】 川畑 忠之
- 【委員】 北村 晋・藤本 悟
 松下 照幸・梅津 隆久
 仲寫 正一